

(有)アミューズファクトリーの環境行動計画

平成21年3月22日

■ 取組方針

(有)アミューズファクトリーは、スクーバダイビングに関する教育・イベント企画・器材販売を行っております。地球規模での環境保全が叫ばれる中、ダイバー教育の一環として水中環境保全に関する教育をし、一人でも多くの方の環境保全に対する意識を高め、実行することを使命のひとつとしております。

今後、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題であることを認識し、地域社会との調和を図りながら、進歩・発展していくことを目指していきます。このため私達は従業員一丸となって以下の取組を行います。

- ① 事業活動中での省エネルギー化に努めます
- ② 事業活動中における廃棄物の削減に努めます
- ③ 紙・水の使用量の削減に努めます
- ④ 環境保全活動に積極的に参加し、地域社会に貢献します
- ⑤ 環境保全の意識が高いダイビング教育を提供します

この方針にそって、高い環境意識を持ち、環境に配慮した行動と教育を実施するよう全従業員に周知します。

平成21年2月16日

(有)アミューズファクトリー
代表取締役 森山 知明

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標1	二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、20年の573.4（kg-CO ₂ /百万円）を基準として22年までに556.3（kg-CO ₂ /百万円）に削減する
具体的な取組	<p>【事業所内での取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 空調を必要な区域・時間に限定する ② 空調設定温度を夏は28℃、冬は20℃に設定し、店舗内の温度計で稼働の調整をする ③ 照明器具の省エネ化を進める ④ 空調機や照明器具の点検・清掃を定期的に行う ⑤ 積極的に節電を行う <p>【車両の使用に関する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 急発進・急ブレーキは控えエコドライブに努める ② 車両の点検・整備を定期的に行う

目標2	廃棄物排出量を把握し削減する。目標数値はデータ把握後、設定する。
具体的な取組	<p>【事業所内での取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物排出量を計測する ② 廃棄物は、決められたごみ箱（可燃ごみ、不燃ごみ、パンフレット、雑誌、容器プラスチックなど）に分別して出す ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する ④ 使用済のダンボール、梱包材、荷造りひもを分別し、ダンボール、梱包材は繰り返し使用する

目標3	コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、20年の1.2（kg/百万円）を基準として22年までに1.1（kg/百万円）に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 配布用パンフレット・資料は適正な部数を作成し、配布する ② 印刷する際に校正ミスなどの確認を充分にし、余分な印刷を防ぐ ③ 両面コピーを進める ④ 裏面利用を徹底する

目標4	水の使用量（売上高当たり）を、20年の6.9（m ³ /百万円）を基準として22年までに6.6（m ³ /百万円）に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 洗車用のホースは流量調整可能なものを使用する ② 水道配管からの漏水を定期的に点検する ③ 積極的な節水を行う

目標5	環境保全活動に参加し、地域社会への貢献活動を推進する
具体的な取組	① 地域で開催される海岸清掃のボランティア活動に有志を集め、参加する ② 当社主催のクリーンビーチ活動に有志を集め、海岸清掃と水中清掃を行う

目標6	環境教育をし、環境保全の意識を広げる
具体的に取組	① ダイビング教育の中で自然環境の素晴らしさを伝え、より多くの方に環境保全の意識を広げる ② 水中環境保全の方法を具体的に伝える

■ 環境行動計画の実施体制

担当者をリーダーとし、全従業員が「具体的な取組」を実施します。また半期ごとに取組状況を確認し従業員にフィードバックします。